第60回 (尹丹市展

入選目録

会期:令和7年10月9日(木)~10月13日(祝・月) 午前9時30分~午後5時(最終日は午後3時まで)

会場:スワンホール(伊丹市昆陽池2丁目1 昆陽池公園となり)

3 F 多目的ホール

<洋画・日本画>

く書>

2 F 第 5 会議室

<デザイン・立体告形・工芸>

2 F 多目的室 1 第 6 会議室

<写真>

<主催>伊丹市教育委員会 伊丹市 <共催>伊丹美術協会

< 後援>朝日新聞阪神支局・神戸新聞社・産経新聞社神戸総局 毎日新聞阪神支局・読売新聞阪神支局

●お問い合わせ 伊丹市立中央公民館 (第1·3月曜日は休館です)

〒664-0015 伊丹市昆陽池2丁目1 (スワンホール1階)

(TEL) 072-784-8000 (FAX) 072-784-8001

(HP) https://www.city.itami.lg.jp/SOSIKI/EDSHOGAI/KOMINKAN/index.html

洋画・日本画

	氏名	作品名
第60回記念賞	田中寿之	
市長賞	橋本 一子	party 仲間達の集い
議長賞	富永 利那	光の射す一時
教 育 長 賞	松浦 良明	風雪の詠
伊丹美術協会賞	河野 満	水の森の精に祈る
神戸新聞社賞	松原 浩子	心の空
産経新聞社神戸総局長賞	小池 悠真	僕のこと
毎日新聞阪神支局長賞	田中 嘉一	パルナッソスの伝説−2
奨 励 賞	長岡 敏夫	混沌
奨 励 賞	板東 弘憲	流動
奨 励 賞	藤田 道枝	郷愁
新人奨励賞	荒木 佑仁	恐竜動物園
入選	朝山 啓三	早朝の海岸
"	荒川 弘道	昆陽池公園の風景
<i>''</i>	石道 文明	レストラン
"	浦辺 民子	ほてい草とダリア
"	岡村 明美	attractive woman
"	荻野 沙紀	one
"	小椋 世都子	トーテムポール
"	からじくえー	自由の絵描き
"	川島 實	琴電高松築港駅
"	河西 厚子	1 2 1
"	吉川 幸次郎	神話ものがたり
"	甲野 賢	希求
"	小西 慶子	海辺の話
"	小林 勤	西蔵の佛Ⅲ
"	近藤 圭一	見返りの桜
"	阪本 忠之	姫路城百間廊下
<i>''</i>	佐藤 晴奈	雨のあとさき
"	砂田 泰司	情熱のフラメンコ・アレグリアス編
"	野崎 孝子	釈迦三尊像 脇侍
"	野村 和男	新世界

賞	氏	名	作品名	
入	選牧	野 登	ひまわり畑の思い出	
"	松	井 靖	くるま椅子劇場	
"	村	上 泰江	ポーランド マルボルク城	
"	森	本 高明	蜘蛛	
"	八	島 和也	透明な炎	
"	箟	晶子	俺、めっちゃええ顔しとるやろ!	
"	山山	﨑 修志	妖怪画 人魂	
"	和	田 敬之助	川のほとり	

山田 毅審査員

審査を終えて、「昨年の出品作品に比べると、全体的にレベルが高くなった。しかし、皆が驚くような突出した作品が少ないな」というのが審査 員全員の第一声でした。

来年も個性豊かな作品に出会えます事を楽しみにしています。

					写真
	賞		ا	5名	作品名
伊	丹	賞	大橋	美千代	曲線美
市	長	賞	長谷川	善也	夢幻
議	長	賞	中村	功	見事 射貫く!
教	育 長	賞	数藤	守治	生命の伊吹
伊丹	 美術協 :	会賞	長井	伸也	おいかわ
朝日親	折聞 阪 神 支 原	易長賞	平川	順子	春宵の舟屋
神戸	新聞和	±賞	常木	良一	手筒放揚ポーズ
産経親	間社神戸総	哥長賞	なかに	し 宏明	時間の呼吸
毎日親	所聞阪神支周	長賞	真鍋	智子	厩舎額絵画
読売籍	斯聞阪神支周	長賞	石原	務	あなたを守るため
奨	励	賞	石原	修	雄壮
	"		泉昕	3子	情熱を込めて
	"		大原	国男	見えない彼方へ
	"		岡口	憲治	羽ムーン
	"		小野	仁彦	祈り

	賞		氏名		作品名	
奨	励	賞	川中	いづみ	追いかけっこ	
	"		高田	恭子	暁光	
	"		成平	博	黄金ミツバチ隊	
	//		松井	宏友	光に誘われて	
	//		山下	幸代	ヤッホー!!	
入		選	青木	明夫	想い出	
	"		青野	裕一	月影に抱かれて	
	"		明山	江美子	惜春	
	"		浅野	三雄	砂煙舞う	
	"		安藤	由起子	夏の思い出	
	"		池永	勉	五月の風	
	"		生駒	健一	昭和の夢	
	"		今田	裕	秋彩の池	
	"		岩井	健次	時熟	
	"		上柳	恒雄	ファンタジー	
	//		薄井	研司	あと少しだな	
	//		宇田川	川 洋二	風紋	
	//		畝村	豊明	赤い大地 ナバホ族の準自治領	
	"		圓谷	浩	Nordic humor	
	"		遠藤	堅衛	水音の聞こえる公園	
	"			学	水の都	
	"		門脇	宏充	黎霧	
	"		神木	歌子	昼下がりの漁港	
	//		亀田	喜代子	ちっちゃないたずら	
	"		合田	伸一	虹の滝	
	"		小林	恭子	五月の音色	
	"		小南	健治	ギョロッ	
	"		坂本	達治	夏の宵	
	"		坂本	よし乃	異国の瞳	
	"		先山	美穂	早春の漁港公園	
	"		清水	和男	羽衣舞う	
	"		清水	和義	稍重	
	"		菅原	和子	鳩と友情の瞬間	

ra E	* •	氏名	作品名
入	選	仙﨑 幸子	ある月夜
	7	竹内 範子	夏の川
,	<i>'</i>	田代 末勝	飛行機召しませ、ランララン
,	<i>'</i>	田中 諭	夏到来!
,	<i>'</i>	田中 美和	夏列車が往く!
,	<i>'</i>	千葉 国男	なまけもの
,	<i>'</i>	天井 博章	見上げる
,	'	中垣 芳樹	巨大アスレチック
,	<i>'</i>	名越 章	グロテスク
,	<i>'</i>	羽田 範子	「麦の声」
,	'	波多野 博	指定席
,	'	蜂谷 和子	僕と妹と
,	'	羽馬 芳壽	月食のエアポート
,	'	藤田 儀仁	太陽黒点
,	'	藤野 稔	式日の朝
,	"	前川 博史	出発の刻
,	"	前田 幸三	静かな午後の一時
,	"	前田 千代子	御舟行事
,	′′	前田 弘志	SHIP'S CAT
,	′′	松井 千壽	錦秋
,	"	松田 正康	出番前
,	"	松田 陽子	お焚き上げ
,	"	三ツ橋 洋	闘争
,	"	宮下 忠明	護摩木を投込む
,	"	宮林 立江	ルンルンお散歩
,	"	矢敷 和臣	湖面の華
,	"	箟 栄治郎	いらっしゃいませ
,	"	山田 純一	ポスター広場
,	"	山辺 幸男	飛沫の煌き
,	"	米本 瑞枝	ロンド序章

垣村 早苗 審査員

本年度は昨年より応募数が増えたという事で、応募者が熱心に取り組まれたことを喜ばしく感じました。全体を見せていただきますと、撮影者の意図する主題が顕著にわかる作品が、やはり上位に選ばれています。 構図の良さ、光を上手く捉えた作品、的確な露出でメリハリのある作品は、見るものを魅了します。

デジタル時代になり、AI技術も限度がありませんが、写真の限界を超えるようでは、他ジャンルとなります。そういう作品が少なかった事はいい傾向だと思います。

気になりました事は、発表済みに似た作品、主役にピントが来ていない、いい内容であっても平面的な作品があったことです。これは印象の薄いものとなります。

時代の変遷で表現媒体も変化する中、展示発表する文化が益々発展することを願ってやみません。

	書								
賞 氏名			氏名		作品名				
伊	丹	賞	名嘉地	. 美津子	ひカ	かり			
市	長	賞	坂爪	伸子	蘇廷				
議	長	賞	大川	紀游	吉野	野ざくら			
教	育 長	賞	丸山	沙舟	萬世	世不易			
伊丹	}美術協会	資金	中島	徳子	隋煬	場帝詩			
読売	新聞阪神支局	長賞	池本	古凛	項新	籍鷹揚			
奨	励	賞	井筒	温子	漢负	剣當飛去			
	"		宮澤	モリエ	道行	行く			
入		選	井上	秋鹿	水團	靨瓊 酥			
	"		井上	由美子	海音	音			
	"		井本	雅士	寸銈	澂三千年			
	"		内田	一柊	陽耄	春曲			
	"		高垣	秀生	對涅	酉			
	"		寺田	亜紀	源氏	氏物語			
	"		西村	志織	烏夜	夜啼			
	"		西村	蒼惺	黄雀	省曾詩虎丘詠			
	"		新田	彩華	秋登	登宣城謝眺北樓			
	"		松川	桃笑	糞蟲	蟲至穢			

谷野 成子 審査員

昨年より出品点数が増え、各ジャンルからの作品が並び、変化と彩りの ある展覧会になりました。

各部門の作品を共通して大切なことは基礎的な力です。日頃の勉強の積み重ね、創作には臨書による基礎力が物を言います。そして、美しいものを常に観たり、聴いたり、触れたりして感性を養うことも大切です。

書作品は文字の持つ構築性、流動性、筆脈などが奏でる美しさが魅力で す。来年もまた研鑽を重ねられた多数の作品を期待しています。

			7	゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙	立体造形・工芸
	賞			氏名	作品名
伊	丹	賞	時任	眞弓	赤荒土焼締鱗波花器
市	長	賞	二越	としみ	出発の朝
議	長	賞	鳥井	幸子	滴の集まり
教	育 長	賞	阿部	武士	花器
伊丹	}美術協会	会賞	安田	正裕	老人と海
朝日親	所聞阪神支局	長賞	竹田	絹子	悲喜こもごも
入		選	市川	宏	練り込み ほり貫き 夫婦茶碗 と 練り込み 小皿 五枚
	"		江木	洋子	姫リンゴ
	"		岡村	ひとみ	万華鏡
	"		片山	保幸	活躍するをんな
	"		中嶋	祐子	龍の傘立て
	"		野田	徹	みんな元気ー!!
	"		松浦	陽	飢えのない未来を願って…
	"		吉廣	幸紀	海を渡った伊万里 VOC 大皿

藤本 貴洋 審査員

今年度は19点の出品がありました。昨年度より工芸部門の陶器の作品が多く見られました。受賞された作品は各々作品として存在感のある秀作ぞろいだったと思います。また、入選された作品の中にも光るものがありました。また来年度の出品も楽しみにしています。

審査員(50音順・敬称略)

洋画 日本画	池本長蔵(伊丹美術協会) 塚本文子(二元会) 辻 司(日本美術家連盟近畿 代表) 山田 毅(日本画家・金沢美術 工芸大学非常勤講師)	写真	垣村早苗(日本写真協会) 髙畠節二(日本写真家協会) 松村 勲(伊丹美術協会)
書	酒居石荘(伊丹美術協会) 谷野成子(兵庫県書作家協会) 山下啓明(日本書芸院)	デザイン 立体造形 工芸	馬川晴美 (陶芸家・ 伊丹美術協会) 江尻幹子 (元大阪芸術大学教授) 藤本貴洋 (伊丹美術協会)

<第60回伊丹市展出品・入選状況>

	洋 画日本画	写真	書	デザイン 立体造形 エ 芸	合 計
出品点数	5 0	110	2 4	1 9	203
入選点数	4 0	7 8	1 8	1 4	150

公民館のホームページ・LINE・Instagram はこちらよりアクセスが可能です↓

ホームページ 回路は発出回 部務を対する

講座・イベントの申込みは こちらから↑

LINE公式アカウント



@333ejxwf



Instagram やってます♪



#伊丹市立中央公民館